



ホスピタウン便り

発行責任者 ホスピタウン事務局
VOL60 平成23年1月



特別な年：日野原重明先生 満100歳

毎年新しい年はそれぞれ、その年毎に“特別な年”であると思います。
毎年新しい年に向かって私たちは、なにか新しい、特別なことを期待し、また特別な気持ちで迎えます。

しかしながら、2011年は本当に特別、言い換えれば超特別の年です。

それは聖路加国際病院理事長、そして医療法人真誠会の名誉理事長をしていただいている日野原重明先生が本年10月4日に満100歳を迎えられるからです。

確かに現在の日本は世界でもトップの長寿国になりましたが、さすがに満100歳は少なく、かぞえて100歳になったら、“前倒し”で100歳のお祝いをします。なぜなら急いで前倒しで100歳のお祝いをしなければ、満100歳でのお祝いは必ずしも保障されていないからです。

さて日野原先生の場合はどうでしょうか。日野原先生は99歳でも相変わらずの多忙を極め、一年間で182回の国内講演、7回の海外出張と、子どもたちに対する命の授業も5年前と変わらず実行しておられます。そして私たちへの約束通り、ますますクレシェンドな生活しておられます。ですから日野原先生100歳の生き方は、日本の全国民が注目しているといっても過言ではないと思います。2011年は、新年早々から日野原先生のテレビ特番が次々に企画されているようです。ということは、先生の100歳になられる今年は、ますますお忙しいということです。

そして私は、日野原先生の100歳の伝記を書く事が許され、日野原重明先生の100年の伝記を、本年の先生のお誕生日に間に合うように出版予定になっております。

記念すべき2011年の日野原先生にまつわる企画の一つに入れていただけることを、この上ない名誉とっております。実際のところ、日野原先生のところには「日野原先生について本を書かせてほしい」という申し出がたくさん来ているとのことですが、日野原先生は、全部断っていると私に仰いました。日野原先生は、ご自分の伝記は「小田にまかせている」とのお気持ちです。私は、先生の信頼にこたえるために、今年の正月は日野原先生の伝記の執筆に、身も心も全て注しました。本年100歳の日野原先生の更なる活躍に注目し、日野原先生のお誕生日を祝い、日野原先生の力強く、愛に満ちた生活にヒントを得た新しい一年を過ごし、この一年を人間として飛躍の年にしたいものです。



社会福祉法人 真誠会
医療法人 真誠会
理事長 小田 貢

「この日本人がスゴイらしい。BRAND NEW JAPAN」 に小田院長が取り上げられて

平成 22 年 10 月 22 日、「この日本人がスゴイらしい。BRAND NEW JAPAN」（テレビ東京）の特集番組にて、小田貢院長が取り上げられました。非常に人気があり、評価が高かった「世界を変える 100 人の日本人！ JAPAN ☆ ALLSTARS」がリニューアルされた後番組の、初回 2 時間スペシャルの放送です。

三宅裕司氏による司会で、「国連」「名医」の 2 つのテーマで「スゴイ日本人」が紹介されました。日本初の国連職員で元国連事務次長の明石康氏、また、「名医が紹介する名医」と題し、天才脳外科医・福島孝徳氏など日本を代表する人たちが紹介する医師が取り上げられ、最後に、99 歳の現役医師・日野原重明先生からの推薦があり、「自分が診てもらいたい医師」として小田院長の診療風景、ターミナルの患者さんに対する思いやりなどが紹介されました。

日野原先生の名医の定義は「心を支える医師」でした。番組中、医療技術で世界トップクラスの医師が名医として紹介されていました。小田院長は医療技術での日本代表ではありませんが、患者の心を支える医師として、日野原先生は周囲の数百人の医師の中から、小田院長を紹介されたのです。

この番組で次々に素晴らしい人たちが紹介された後、パネラーのコメントになりましたが、作家の筒井康隆氏による「名医とは、哲学を持っている先生のことだと思う」という感想に始まり、小田院長の医療哲学に会場の皆が共感していました。

小田院長は、開業以来 22 年間、寝食を投げ打って患者さんに尽くしてきた努力を日野原先生に評価してもらって、これ以上の喜びはなかったようです。この番組について詳しくお知りになりたい方は、インターネットで「この日本人がスゴイらしい」を検索してください。



雑誌『いきいき』の特集に小田院長が掲載される

平成 22 年 11 月には雑誌『いきいき』より、平成 23 年 2 月号に小田院長の医療を特集で取り上げたいとの取材依頼がありました。

この取材もテレビ東京の番組「この日本人がスゴイらしい！」を見た編集員が感動し、小田院長の医療に興味を持ったからとのことでした。

外来から回診までほぼ一日の取材でした。

本年 1 月 10 日全国発売の『いきいき』2 月号に、ホスピタウンでのターミナルケアへの取り組みが、5 頁半にわたって紹介されることになっています。



チームワークで豪雪をのりきる

平成 22 年 12 月 30 日の夜から米子に雪が降り、あっという間に豪雪状態になりました。真誠会の通所施設では 12 月 31 日までは行ないましたが、平成 23 年 1 月 1 日から 1 月 3 日まで通所はお休みしました。ですが、透析は休むわけにはいかないので、通所のスタッフの協力も受けて透析患者さんの送迎をやり遂げました。その送迎の苦労は想像を絶するほどであり大変でしたが、患者さんを助けたい一心で誰もが協力してがんばりました。

通所だけではなく施設系でも数時間かけて歩いて出勤してきたり、翌日の勤務のために泊り込んだ職員がありました。おまけに 1 月 1 日の未明より米子市弓浜地区が全面的な停電になり、寒さ対策、食事の準備など、高齢者の命に直接関係する大きな問題に直面しました。これも職員が知恵を出し合って、そして各部門を越えた協力で乗り越えることが出来ました。幸い停電は約 12 時間から 15 時間で復旧しました。

今回の豪雪、停電によって、改めて職員の責任感、チーム力を感じさせるもので、一方ではこのような自然災害の備えについてもう一度見直して理想的には 3 日間の孤立状態になっても耐えうるよう災害対策を行わなければならないと思いました。



「第6回弓浜助け合いネットワーク」シンポジウム開催 認知症を支える住民パワー！ ～ その新たな展開 ～



平成 22 年 11 月 28 日 (日)、「第 6 回弓浜助け合いネットワーク」が弓浜ホスピタウン (2000 年ホール) にて開催され、夜見、富益、和田、崎津、彦名、大篠津 6 校区の住民や関係者約 300 人が参加されました。

今回のシンポジウムは、「認知症を支える住民パワー！～その新たな展開～」と題して、住み慣れた町でいつまでも安心して自分らしく暮らすための「地域で支えあえる仕組みづくり」について、鳥取県内各地の発表と意見交換会が行われました。

和田町の発表に続いて、プロジェクトで生まれた「伯州綿・浜むすめ」の歌に合わせて、踊りの得意な地域の有志がステージに上がり、観客を喜ばせる一幕もありました。

意見交換では、弓浜地区の伯州綿づくりをまちづくりになぞらえて「各種施設や団体、自治会を核に、人情という助け合いの種をまこう」と、地域の絆の大切さを確認して、盛会のうちに閉幕しました。



意見発表者の皆様。左から
和田校区自治連合会会長 田邊忠雄氏
三朝町役場健康福祉課課長 前田敦子氏
琴浦町地域包括支援センター主任 宮本 徹氏



介護保険・認知症相談コーナー、アロマセラピー紹介コーナー、お化粧品ボランティアはからサロン、作業所販売コーナー、パネル展示コーナーが大勢の人で賑わいました。

■基調講演

「拡がるネットワーク しみわたる人情」
…………… 医療法人・社会福祉法人真誠会
NPO 法人がいなネット
理事長 小田 貢

(内容) 近年、認知症に関する理解が進み、普通の病気という認識が定着してきています。一方、認知症の施設は満杯状態。これからは地域で助け合う時代が来ます。都会では、地域の絆が失われた「無縁社会」が広がっており、社会から孤立した人が増えています。既存のネットワークをさらに発展・進化させて「無縁社会と無縁な社会」を作るために、地域の元気な老人が行動を起こしましょう。

■発表 表

●「あつたか琴浦徘徊あんしんネット」の取り組み
…………… 琴浦町地域包括支援センター 主任 宮本 徹氏
(内容) 徘徊者役が実際に街を徘徊する模擬訓練によって、地域住民に、徘徊している人への「気づき」の目を持ってもらって、勇気を持って「声かけ」ができるようになり、安心して徘徊できるまちを目指して関係者の連携「ネットワーク」をつくっています。

●ぼんぼこの会のゆるやかな取り組み～大丈夫なまち・みささ～
…………… 三朝町役場健康福祉課 課長 前田敦子氏
(内容) 当地域では、町民の方に聞きながら認知症対策を進めていきました。平成 21 年度に認知症を語る会「ぼんぼこの会」が発足し、紙芝居・夢芝居を通じて認知症への理解を深めながら、みんなが大丈夫と思えるまちづくりを、地域に合わせた形で進めています。

●「綿作りで人情おこし・地域おこし」
…………… 和田校区自治連合会 会長 田邊忠雄氏
(内容) 小規模多機能センターふる里を中心とした、保育園児、小学生、そして地域の住民との綿づくりの経験を通して、高齢になっても、認知症になっても、安心して暮らせるまちづくりが、綿づくりの輪から広がっていくのが期待されています。



小田理事長とパネリストの皆さん



介護老人保健施設 弓浜ゆうとぴあ
施設長 五明田 孝

施設長からの新年のご挨拶



昨年 11 月 27 日、坂本龍馬が暗殺され、大河ドラマ「龍馬伝」は終了しました。一寸悲しくて残念な一日でした。名もなく地位もない一介の土佐脱藩浪士が、300 年近く続いた徳川幕府を終わらせ、新しい時代への歴史の歯車を動かしたしたのは、将に奇跡です。あのとき日本にとって、竜馬が存在したことが幸運でした。思うに、歴史を転換させた要因は、結局のところ、私心が全くなく、己を捨て唯“日本を幸せにするために”だけを行行動の根本におき、信念に従って突き進んだことではないでしょうか。翻って現状を見るに、内外ともに大変厳しい状況におかれています。互いに面子を捨て、日本のために第一に考えて行動する竜馬の出現が、今ほど求められている時代は有りません。われわれ老人施設も、今は大変厳しく色々な問題がありますが、結局のところ“利用者のために”をモットーにして進みたいものと思っています。今出来る事は何かを考え、卯年にあやかり今年を跳躍の年にしたいものです。皆様と一緒に頑張りましょう。



介護老人保健施設
ゆうとぴあ
施設長 中下英之助

政権交代して 1 年間に過ぎましたが期待した業績もなく、少子高齢化が進行しており将来の不安が増大の一途を辿っています。わが国では戦後の改革が、60 年代からの高度成長につながりましたが、この日本型モデルが成功しすぎた為に「成功の呪い」を引きずり、バブル崩壊後の 90 年代になり社会生活関連の人間関係が変化した現在でも、社会全体に見られる特徴としてリスク回避傾向があり、標準、一番無難な当り障りのないものを選択する政策（デフォルト戦略）がなされ社会の停滞が続いています。

排泄ケアでは介護保険制度は認知症対策に比較して、排泄介護対策は十分とはいえません。国の介護保険政策や医療側の排泄介護面の軽視、介護現場での従来型の排泄指導があり、オムツでの対応を余儀なくされています。施設入所者の現状は ADL が低下した介護度の高い症例が増加しており、排尿ケアにて自立達成例は多くなく、排尿管理における介護負担は増大しております。

心理学に自分が何かをすることで環境が変えられる（自己効力感）という概念があり、社会活動では自分の好みや意見をはっきり持ち、独立心の強い人が自分や他人の感情を理解する能力が高く、自発的に協力する傾向が強くなるとされており、介護負担を軽減する為には排泄ケアに対する自己効力感を高めることが有用であります。

この度、施設職員に対する自己効力感の調査により、施設入所者の介護において、自己効力感が高い職員はどのようなスキルが高いかを明瞭にすることが出来ました。この調査結果より自己効力感の高い職員の持つスキルを、低い職員に対し援助するために生かすことが、看護・介護スタッフの排泄ケアに関する知識や技術の向上に必要です。

今後の課題として、施設職員と家族の協力のもとに施設入所者の在宅復帰に向けて排尿介護負担を軽減するためのロードマップの作成、実施を目指しています。

今年もよろしくお願いいたします。



介護老人福祉施設ピースポート
施設長 矢倉 敏久

昨年の夏は、大変な猛暑でした。室温が暑いと、利用者様が発熱されることがありますので、施設の温度管理には大変気を遣います。

ところが、その猛暑のさなかに、突然エアコンが止まったことがありました。利用者の皆様、大変なご迷惑をおかけして申し訳ございませんでした。

業者がとりあえず応急処置を行い、1 時間程度でエアコンは復旧しました。また、幸いにも、エアコンが止まったのが夜明け前の比較的涼しい時間帯でしたので、健康を崩された方はいらっしゃいませんでした。

しかし、全国で熱中症が多発している頃でしたので、故障の原因が突き止められ修理が完了するまでは、毎日緊張していました。

高齢の利用者様が生活しておられる施設を管理していることの責任の重大さを身にしみて認識しました。

本年は施設長として 2 年目になります。気を引き締めて頑張ってお参ります。また、皆で楽しんでいただけるたくさんのイベントも、引き続き工夫してまいります。ご家族様のご参加を心よりお待ちしております。皆様方の、真誠会へのより一層のご支援をお願いいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

真誠会医療福祉 連携センター

平成 22 年 10 月から、真誠会医療福祉連携センターが、真誠会セントラルクリニックと真誠会すべての事業所の総合相談窓口として新たに生まれ変わりました。

職員(看護師・社会福祉士・主任介護支援専門員)が医療・福祉・介護保険に関する皆様のご相談に 24 時間体制でお応えします。

「真誠会はたくさん事業所があるけれど、どこに連絡したらいいの?」「ここのサービスを使いたいんだけど」という時には、真誠会連携センターまでご連絡・ご相談ください。また、真誠会連携センターは真誠会セントラルクリニック内にありますので、不明な場合は受付にてお問い合わせいただき、お気軽にお立ち寄りください。

真誠会連携センターは
真誠会セントラルクリニック、および
真誠会すべての事業所の相談受付窓口です



センター長代行
小山 雅美
社会福祉士
主任介護支援専門員
介護福祉士



看護師長
北尾 仁
看護師



河合 正子
社会福祉士
精神保健福祉士
介護支援専門員



木村 留美子
事務



真誠会医療福祉連携センター
(通称 真誠会連携センター)

TEL 0859-24-5557

または 080-6320-9087

米子市河崎580番地 真誠会セントラルクリニック内

2010年度 日本認知症ケア学会中国地域大会 ～認知症の早期ケアに向けて～

平成 22 年 12 月 5 日(日) 米子コンベンションセンターで日本認知症ケア学会 2010 年度中国地域大会が開催されました。地域大会としては過去最大の 54 題もの演題が集まり、500 名以上の方が参加して、素晴らしい天気の中で大変盛大に行われました。

第 1 回目の中国地域大会となる今回は、「認知症の早期ケアに向けて」という先進的なテーマで、この学会を契機に認知症の早期ケアがより注目され、進展していくことが期待されています。

この大会では、真誠会からは、介護老人保健施設ゆうとぴあの曾田淳と、人材育成委員会の篠原理奈が発表いたしました。

認知症ケア専門士の活動の評価と課題

小規模多機能センターふる里 管理者 篠原 理奈
(宇野)

今回、法人内の認知症ケア専門士 34 名を対象に、専門士として現場での実践やリーダーシップの現状について活動調査を行ないました。結果、継続した研修により得た知識、技術や日々のケアの積み重ねから専門性を活かした実践ができていくこと、リーダーシップの発揮について副主任以上の職員は専門性の役割を理解してリーダーシップを発揮していることがわかりました。リーダーシップを発揮するための課題として「人間の成長」「熱意」と回答した人が多いことから、専門性を発揮した実践者となるには知識、技術はもとより人間のスキルの向上が必要だと考えられます。

今後も継続した研修や自己研鑽、日々のケアから気づきを得て、質の高いケアの提供に努めていきたいと思っております。

当施設における認知症短期集中 リハビリテーションの効果

介護老人保健施設ゆうとぴあ 作業療法士 曾田 淳

平成 22 年 12 月 5 日に米子コンベンションセンターで開催された日本認知症ケア学会で「当施設における認知症短期集中リハビリテーションの効果」について発表いたしました。発表内容は、当施設における多職種協働で認知症ケアを提供することにより、周辺症状改善・在宅復帰に繋がった症例を報告しました。

今回発表をさせていただき、今後もケアの質の向上を図るためには、多職種での連携を中心に積極的な取り組みが必要だと感じました。



辻田耳鼻咽喉科



素顔のフランス人

辻田耳鼻咽喉科
院長 辻田 哲朗

フランス旅行の続きです。ボクにとっては2回目のフランスでしたが、1回目の時はどこか少し構えていたというか、緊張していた自分でしたが、今回は全く普段着でパリを楽しむことができました。ホテルもアパルトマン形式だったので、旅行者というよりちょっとだけパリに暮らした、そんな気分でした。

フランス語はしゃべれるにこしたことはありませんが、それでも基本の5つの言葉さえ言えたらなんとかなると思います。その5つの言葉です。「ボンジュール」「メルシー」「オヴァー」「エクスキュゼ・モア」「シルブプレ」です。前の3つはよくわかると思いますが、「エクスキュゼ・モア」は英語の「エクスキューズ・ミー」で相手に話しかけるときの必要です。最後の「シルブプレ」は英語の「プリーズ」に相当して、何かが欲しい時には欲しい物の後にこの「シルブプレ」を付けると大体通用しました。他のフレーズとしてはできれば「How much?」の意味の「セ・コンビアン?」と「What is this?」の「ケスクセ?」があれば少なくともパリでは十分に事足ります。事実、フランス語をほとんどしゃべれない職員たちもちゃんと注文できていました。なんとかなるものです。今回のボクの収穫は、フランス語を勉強してフランス語を少しはしゃべれるようになったためフランス人と同じ目線で話すことができたことと特に緊張もせずにパリの街に入って行けたことです。でも片言のフランス語をしゃべると相手からフランス語が早口で返ってきたのには参りました。早口でしゃべられたらまったくお手上げです。それでも、英語まじりのフランス語とジェスチャーでも十分にコミュニケーションが取れるのだと改めて感じました。

フランス人について思ったことです。パリには街角の至る所にカフェがありますが、そこでは多くのフランス人たちが昼間からずっと座って話しこんでいました。そしてそれは夜遅くまで延々と続いていたのです。一体フランス人は何時仕事してるの? 不思議でかありませんでした。朝は遅いし昼は昼でカフェではワインを飲んでいるし、そして勿論夜になっても遅くまでカフェは賑わっていたし。日本人みたいに仕事に追われず、ゆったりと人生を楽しんでいる。そんな気がしました。

それとフランス人たちは交通信号をあまり守りません。信号はあくまで目安で、渡れると思ったら赤信号でも自分の判断で横断していました。そこで事故になったらそれこそ自己責任だから仕方ないと思ってるようです。さすが個人主義の国です。よく考えたらそうですね。日本人みたいにバカ正直に交通ルールを守る必要なんてどこにもないです。

最後に一番感じたことです。フランス人の芸術や文化へのこだわりには正直リスペクトです。ルーブルもオペラ座もノートルダムも建物のくせに呼吸していました。生きているのです。エッフェル塔もそうです。堂々と

構えていてボクたち人間を見下ろしていました。ダ・ヴィンチもゴッホも絵の中で今でもまだ生きてるのです。これから先ボクたちが死んだあともずっとです。サモトラケのニケもミロのヴィーナスもこれからもずっと美しいままで生き続けるのです。悔しいけど、フランス人には芸術が人間が人間であることの証だということがわかっているのです。参りました。

これからも変わらずに美しいままのパリでいて欲しい。また、来るかも。その時まで、オヴァー。そして、メルシー、ボクー。



ルーブル美術館にて

いえはら歯科



2011 年 年頭のご挨拶

いえはら歯科

院長 家原 猛

謹んで初春の御慶びを申し上げます。

昨年を振り返りますと、1月 JAL の会社更生法申請に始まり、2月に女子フィギュア浅田真央とキム・ヨナの息の詰まる競演で盛り上がったバンクーバー冬季オリンピックが開催され、アメリカでトヨタのリコール問題が発生しました。5月にはいろいろと物議を醸し、心配されつつ上海国際博覧会が開幕し、宮崎の口蹄疫もなかなか終息せず大きな被害となりました。先が見えず、沖縄の人々の心が通じぬ普天間基地移設問題で国内が熱く加熱しました。その後6月、行き詰まった鳩山由紀夫首相が退陣し、菅直人政権に。南アフリカでは FIFA ワールドカップが開催され、岡田監督率いる日本代表チームの予想以上の活躍でベスト 16 に。日本中が歓喜しました。戦前の不調がウソのようでした。7年に及ぶ歳月を経て小惑星探査機「はやぶさ」が地球に帰還しました。日本の科学技術の高さを証明しました。大相撲野球賭博問題も連日報道され話題となりました。梅雨明けと同時に猛暑が到来、全国で熱中症被害が続出しゲリラ豪雨による被害も頻発しました。猛暑酷暑の記録的な夏、7月参議院通常選挙では民主党が大敗、また衆参ねじれ国会に。8月、チリでの鉱山崩落で2週間ぶりに作業員全員の生存が確認され、軌跡の救出に向かって懸命の作業が続けられ、予定より早く10月には33名全員が69日ぶりに無事生還しました。米国の景気変動などで円高が進行。郵便不正事件で厚生省の村木元局長に無罪判決が出、そして最高検が主任検事を証拠隠滅容疑で逮捕するという事態に発展しました。9月尖閣諸島中国漁船侵犯？衝突事件に続いて、フジタ日本人社員の拘束、10月ノーベル化学賞を根岸・鈴木両氏が受賞する快挙。中国のレアアース輸出制限が世界に波紋を広げ、11月、ロシア・メドベージェフ大統領の国後島電撃訪問、北朝鮮がウラン濃縮施設を公開。そして北朝鮮軍が韓国・延坪島を砲撃するという、夫々の国が夫々の思惑で仕掛けて来ました。この1年、誠にいろいろのことが起こったように思います。ただ、政権交代後2つ目の政権ということでの揺り戻し、衆参のねじれ、・・・残念ながら政治と経済は余り好転しなかったように思います。どうか、今年が良い年でありますように。

皆様の今年一年の御健勝とご多幸を心よりお祈りいたします。

リハビリ強化型 通所介護 **ローズガーデンの増築**(富士見町)

ローズガーデンを開設したのは昨年4月でしたが、ローズガーデンの人气が高かったため、予想以上に早く定員になり窮屈感が出てきました。もちろん法律上の広さは十分に満たしているのですが、真誠会が大切にしている“豊かさ”を提供できなくなりました。そのため急遽平成22年12月より「静養ゾーン」の増築を開始しました。本年2月より使用することができます。利用者の方に、真誠会の豊かさを感じてもらえると思います。そして春には、たくさんのバラの花で皆さまを楽しませてくれると思います。



真誠会デイケアの入浴ゾーンの増築(河崎)

真誠会デイケアは、平成9年に開所しました。鳥取県で診療所が開設しているデイケアでは歴史のある施設です。ですが、入浴施設が不十分でしたので、平成22年12月から入浴ゾーンの増築を行いました。本年3月頃より使用可能となります。真誠会デイケアの利用者の皆さんはリハビリの後に気持ちよくお風呂に入って帰っていただくことが出来ます。本年は歴史のある真誠会デイケアの新しい歴史がはじまります。



新年のご挨拶 ~本年もよろしくお願い致します~



看護介護統括部長
森本 靖子

真誠会の絶対的スローガンであります『感動ある医療福祉、人には愛を、自分には謙虚さを』を基本にして、昨春は、組織は永遠に進化し、レベルの向上を目指す必要があり、それには、私たち一人一人の集合体が、真誠会の力になる、モチベーション上げて、キャリアアップを図り、幸せを獲得しよう…との理事長の熱いメッセージを受けました。以来職員一同スクラム組み、キャリアアップを図りながら、サービスの質の保証と改善を精力的に取り組んできました。どのような時代が来ようとも、変えてはならないのは地域の皆様に満足していただけるサービスの提供であると新たに認識いたしました。

*私の選んだ昨年の真誠会の6大ニュース

1. この日本人がすごいらしい。病める人、ターミナルにある患者さまの心を支え、日野原先生が認める名医、小田理事長が紹介されテレビ東京で放映されました。画面を通して拝見する院長の顔の表情と患者様の表情に新たな発見をして胸が熱くなりました。セントラルクリニックの魅力ある看護として、更に充実していきたいと考えています。
2. 質の高いリハビリ強化型デイサービスは日本でもトップクラスになる、そして精神的な米子の中心になる…とのローズガーデンの開設です。
次々と新規の利用者様が増えていく中で、各専門職員は研鑽し、チームケアを展開しました。
3. 国の方針で介護福祉現場にスポットライトがあたっている今、介護係長の誕生や、天満屋での初の介護フェアーの開催をし盛況でした。
4. 地域密着型の取り組みで、今後の地域包括ケアシステムの構築に向けての足がかりとなる、ふるりの綿作りプロジェクト活動です。
5. 予防と早期発見と早期ケアが重視される今、今後も鳥取県で重要な会になっていくであろう、第一回認知症サミットの開催、多くの市民の皆様への参加があり、認知症の学びをいたしました。
6. 医療福祉連携センターの体制再構築により、開かれた事業所間の情報交換が促進され、地域の皆様のニーズに対応可能なサービスの質・量の成果が期待できます。

その他、WIN FOR ALL (誰ものために勝つ) 働きやすい環境づくりやメンタルヘルスケア、連携・協働が基本となるチーム医療・ケアの充実、専門職に許された新しい業務の実施が新たに重要事項として展開しました。

勿論、接遇・感染・事故・安全運転などの取り組みも強力に組織的に展開してきました。その中で、地域の皆様から宝のようなご意見をいただきましたこと、ボランティアの皆様のご厚情に改めて感謝申し上げます。

今年は卯年、うさぎの上り坂 とあるように、良い方向に進む躍動感とジャンプ力をあわせて地域の皆様と信頼関係を築きながら、真誠会を社会にとって必要不可欠なものにできるようにしたいものです。そして、月でウサギが餅つきをしているように見えた幼少の頃の思い出のメルヘンの世界にひたりながら、心豊かで精神性や内面性を高めることも大切にしたいものです。



ケアハウスリバーサイド
看護師長 奥田 那美恵

昨年 12 月 1 日、ケアハウスリバーサイドは満 9 周年を迎えました。今年は記念すべき 10 年目になります。

開所当初からずっとお住まいの方が、「この世の天国のよう」と幸せそうに笑顔で高らかに話されているのを聞いて、「愛と希望に満ちた、豊かな人生」を送っていただいているのだと安堵いたしました。

残念ながら、人の年齢・加齢は止めることができませんので、たとえ要支援・要介護状態になられても、その人の状態に合わせて暮らしやすいケアマネジメントを受けながら、自立して過ごしていただいています。

人が生きていく上で何より必要な「人と人との交わり」が日々できて、暮らしやすい環境が整えば、安心して生活していただけたと思います。

職員も 50 歳以上の経験を積んできた者ばかりですので、それぞれの役割を果たして、人生の先輩である入居者の皆様からさまざまなことを教わりながら成長していき、心豊かで幸せな人生を送られるための伴走者をさせていただければ幸いです。

新年のご挨拶 ~本年もよろしくお願ひ致します~



介護老人保健施設 ゆうとぴあ
看護師長 小徳 美千子

早いもので、昨年の1月にゆうとぴあに就任させていただき、早一年が来ようとして、また、新年のご挨拶をさせていただきます。

皆様にはお健やかに幸多き新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年中はいろいろとご厚情賜り、誠にありがとうございました。

「企業は人なり」と松下幸之助氏の言葉ですが、真誠会でも「人は財産」という信念の基、色々な考えや経験を持った人が、その個性を活かし、さらに大きく羽ばたけるよう「人財育成委員会」でサポートさせていただいています。教育の成果は一朝一夕では現れませんが、一人一人の職員が意見を言い合い、自分の考えで問題を発見し、解決する能力を確実につけ、それが集団として、皆様に愛される施設として成長していくことに繋がると考えています。

新しい年を迎え、一人一人の異なる個性が力を発揮でき、切磋琢磨していける人生のステージ作りのために皆さんと力を合わせて、兎のように大きくジャンプしたいと思います。



真誠会セントラルクリニック
看護師長 椿 久美子

昨年はTV 東京の取材に始まり、雑誌「いきいき」の取材と続きとてもいい経験をさせていただきました。

ある日大腸癌でターミナルの患者様へ院長が大好きなお酒を、お猪口に1杯差し上げられました。それが「とてもうまかった」と来院された奥様へ話されました。翌朝奥様が本人の大好きな「いいちこ」を持ってナースステーションへ来られました。回診時院長の手により「いいちこ」を1口2口、口に運ばれました。とてもいい笑顔でした。その回診後2時間くらいで静かに息を引き取られました。亡くなられてからも「いいちこ」を抱えさせてあげました。家族さまも「いいちこ」を飲んでにっこりされている写真を見て「大好きなお酒が飲めて良かったね、おとうさん」と泣きながら話しかけておられました。

これからも患者様・ご家族様に寄り添う医療が提供できるようにしていきたいと思ひます。



介護老人福祉施設 ピースポート
看護師長 絹川 裕子

昨年8月に老健ゆうとぴあから特養ピースポートに異動し、1年半経過しました。

老健と特養の違いは大きくはリハビリ施設と生活する施設の違いだと認識しております。

入所者一人一人が歩んでこられた人生と生活を尊重し「その人らしい暮し」を送って頂ける様に健康管理とまた、ご家族様の意向を伺いながら共にケアを提供させて頂けるよう職員一同努力してまいります。



訪問看護ステーション
ネットケア
所長 岡田 悦子

皆様の温かい支援・御指導のお陰で、今年6月1日には開設15周年を迎えます。10周年のころと比べ利用者の方は癌、神経難病、ストーマの方が半数近くを占め、ネットケアの特徴といえます。重度障害を持って地域で暮らせるよう私達地域の看護師は、利用者の人生観や死生感に添いながら支援をしなければなりません。その為に看護師としての技術はもちろん、豊かな人生感、死生感をもった看護師に成長していきたいと思ひます。



通所リハビリテーション真誠会
看護師長 佐平 登志美

医療法改正・在院日数短縮にともない、通所リハビリテーションを利用される方々のニーズも多様に変化しています。ニーズに対応するためには、「情報のアンテナ」を高くしご利用者様の満足度に繋いでいくことが大切だと思ひます。専門職としての能力向上を目指し、繊細で「気づき」のあるケアが実施できる事業所を目指したいと思ひます。さらに、真誠会グループの特徴を活かし、「切れ間ないサービス」を提供できるよう通所リハビリテーション真誠会の役割を發揮したいと思ひます。



弓浜ゆうとぴあ
看護師長代行 安田 浩子

施設でも医療ニーズの高い方が増えていますが、超高齢化社会に突入した時代の課題は身体介護だけでは満たされなくなってきました。

その人らしく過ごしていただけるよう笑顔と暖かい手で、心のケアにも一層努めてまいります。心の健康と安心できるサービスの提供ができるよう、ご自宅に帰られた後も在宅サービスと連携して今後の生活のお手伝いが出来るよう職員一同、努力してまいります。

新年のご挨拶 ~本年もよろしくお願い致します~



小規模多機能センター
真誠会ふる里
管理者 宇野 理奈

昨年中は地域の皆様に熱いご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございました。「地域密着の使命」のもと、ふる里が開所して5年目の年を迎えました。今後も地域との繋がりも年を重ねるごとに深まり、地域の皆様の熱いパワーを肌で感じております。地域に根ざした事業所を目指し、支え合う相互関係を築けるよう、安心して暮らせる街作りに貢献します。今年のご干支であります「兎」の如く、職員一同力を合わせ一歩一歩力強く飛び跳ねて、ふる里の更なる「飛躍」の年にしていく所存でございます。皆様にとりまして、この新しい年がより良き年でありますよう心から祈念いたします。



リハビリ強化型通所介護
ローズガーデン
管理者 松本 光生

真誠会ローズガーデンをご利用いただき、また、日頃よりご利用者様、ご家族様、地域の皆様方には、ご支援、ご協力いただきまして誠にありがとうございました。当事業所ではこれからもお一人お一人との“ご縁”を大切に、ご利用者の皆様に「ローズガーデンに来てよかった」と思ってもらえるよう、真誠会理念である「愛と謙虚さ」の気持ちで質の向上に努めていきたいと思っております。また、前年に引き続き、地域の中でローズガーデンが何かのお役に立てるかを常に考え、地域の皆様に親しまれ、信頼される事業所作りに努めていきたいと思っておりますので、今後とも温かいご支援とご指導を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



通所介護弓浜ゆうとびあ
管理者 山根 賢一

2011年弓浜デイサービスは「楽しみ」「笑顔」「元気」の3本柱を軸に、利用者様が生き生きと生活が送られる支援をしていきます。地域との交流(小学校、保育園等)を活発に行い、地域に根ざした介護サービスを展開していきたいと思っております。常に利用者様のかゆいところに手が届くような配慮を心がけ、利用者様と共に笑い合い、笑顔の絶えない事業所を目指し、1年のスタートからダッシュで走り出し頑張っていきたいと思っております。

介護の日 記念イベント開催

11月11日の介護の日に先立ち11月7日に天満屋にて「真誠会介護の日イベント」を開催しました。イベント内容は介護予防の体操や認知症対応や予防についてなど9つのブースを作り、社会ニーズをもとに多種多様な介護に関心を持っていただける内容を企画しました。約200名の参加があり、盛大に催しが行なわれました。今後も地域に出かけ、皆様のお役に立てていきたいと思っております。今後真誠会は地域の方へ安心して介護の出来る、介護を受けられる町づくりを支援していきたいと思っております。

より多くの皆さんに地域で支える介護について考えてもらうきっかけになったと思っております。今年は、より多くの方に参加していただければ楽しい企画を考えていきたいと思っております。

吹き抜けの広場のブースに買物をしている方々も興味を持って集まってくれました



名称/介護の日 日にち/11月11日

「いい日、いい日、毎日、あったか介護ありがとう」を念頭に、「いい日、いい日」にかけた、覚えやすく、親しみやすい語呂合わせとなっています。介護の日とは、高齢化などにより介護が必要な方々が増加している一方、介護にまつわる課題は多様化しています。こうした中、多くの方々に介護を身近なものとして理解と認識を深めていただくため、地域社会における支え合いや交流を促進する観点から、国民への啓発を重点的に実施する日として、「介護の日」(11月11日)が設定されました。



セラバンド体操の説明を熱心に聞いてくださいました

小田理事長講演会活動記録

いまこそ必要な老人の知恵、技術、パワー



2010年11月12日、小田理事長は「平成22年度地域支え合い事業 老人クラブ地区別研修会」のパネルディスカッションでパネリストとして参加し「開かれた老人クラブ～いまこそ必要な老人の知恵、技術、パワー～」と題して発表しました。要旨は以下の通りです。

現在の高齢社会、超高齢社会において、老人会の参加者は逆に減少していると聞きます。この現象を放置しておく、ますます参加者の減少傾向は強くなると思います。

その理由は、老人会活動への理解、老人会活動の魅力、老人会の社会的使命感などといったものが少ないからではないでしょうか。

老人クラブでは全国三大運動「健康、友愛、奉仕」を推進しているということですが、これは具体的にどのようになされているのか。内容が現在の社会のニーズにあっているのか、参加者に魅力のあるものになっているのか、大胆に考えてみる必要があります。



どのような会でも魅力があれば、参加者は増えます。どのような会でも会の魅力がなければ、参加者は減ります。現在は行政も経済の危機に陥っているため、老人会への補助金は減少していると思います。そのことが老人会の衰退に拍車をかけるかもしれません。しかしながら、これからは各個人の老人が、今後の超高齢社会の中での存在意義を意識して各自の生きがいとはどのようなものであるかを考え、その上で新しい老人会のあり方を考えるときに来ていると思います。

「老人」とは「知恵がある、指導的立場にある人」だという本来の語義を考え、プライドの高い、そして実行力のある老人として、これからの世代を引っ張るパワーになっていただきたいと思います。いまこそ必要な老人の知恵、技術、パワーなのです。



第4回地域交流・ふる里まつり

地域の自治会及び地域ボランティアの皆様方と合同で準備した「ふる里まつり」は今年で4回目を迎えました。

10月16日(土)ふる里前広場にて、勇壮な和田荒神子ども太鼓演奏によるオープニングで幕が開き、金魚掬い・たこ焼・大抽選会・バザー等の各模擬店と合わせ大好評の「浜名物ののこめし」も例年以上に行列ができる盛況ぶりでした。

演芸ステージでは、各地区の踊りやフラダンス、歌等の趣向を凝らしたステージに、会場から熱い声援と大拍手。

地域との手作りの祭りが人と人との輪をつなぎ、さらに大きな響きとして熱く拡がり続けていくことを大切にしていきたいと思います。

地域の皆さま、ご支援とご協力ほんとうにありがとうございました。



和田荒神子ども太鼓の皆さん



和田1区花傘踊りの皆さん

医療福祉 ホスピタウンネットワーク



医療福祉のまち

米子ホスピタウン

- ・真誠会セントラルクリニック (医) 29-0099
 - ・透析施設オアシス (医) 29-1997
 - ・通所リハビリテーション真誠会 (医) 24-6030
 - ・介護老人保健施設 ゆうとぴあ (医) 24-5666
 - ・短期入所療養介護 ゆうとぴあ (医) 24-5666
 - ・通所リハビリテーション ゆうとぴあ (医) 24-5666
 - ・訪問看護ステーションネットケア (医) 24-6777
 - ・居宅介護支援事業所真誠会 (医) 48-0300
 - ・脳活性クラブ米子真誠会 (医) 24-5984
(童謡の里 オルゴール館)
 - ・介護予防センター真誠会 (医) 29-0077
- ホスピタウングループ本部 〒683-0852 米子市河崎581-3 TEL 24-5666



保健福祉のまち

弓浜ホスピタウン

- ・介護老人福祉施設 ピースポート (社) 48-2332
 - ・短期入所生活介護 ピースポート (社) 48-2332
 - ・介護老人保健施設 弓浜ゆうとぴあ (医) 48-2334
 - ・短期入所療養介護 弓浜ゆうとぴあ (医) 48-2334
 - ・通所リハビリテーション 弓浜ゆうとぴあ (医) 48-2334
 - ・通所介護 弓浜ゆうとぴあ (社) 48-2337
 - ・通所介護 弓浜ゆうとぴあ (認知症対応型) (社) 48-2337
(ふくろうの里)
 - ・認知症専門通所介護 弓浜脳活性クラブ (医) 48-2339
(若竹庵)
 - ・訪問介護 弓浜真誠会 (社) 48-2336
 - ・米子市弓浜地域包括支援センター 48-2330
 - ・ケアプランセンター 弓浜真誠会 (社) 48-2335
 - ・ケアハウス リバーサイド (社) 48-2630
- 〒683-0104 米子市大崎1511番地1 TEL48-2331(代)



健診センター

TEL48-0009



真誠会ローズガーデン

米子市富士見町6番6 TEL30-2288



いえはら歯科

9:00~12:30/2:30~6:30 TEL29-6599



辻田耳鼻咽喉科

9:00~12:30/2:30~6:00 TEL29-1187



在宅福祉のまち

在宅福祉センター真誠会

- ・富益しあわせデイサービス米子真誠会 (社) 25-6811
 - ・富益しあわせ認知症デイサービス米子真誠会 (社) 25-6811
(ダンスダンス)
 - ・グループホーム青松庵 (社) 25-6813
- 〒683-0103 米子市富益町235番地8 TEL25-6811(代)



助け合いのまち

小規模多機能センター真誠会ふる里

- ・小規模多機能センター真誠会ふる里 (社) 25-1112
 - ・ふるさとギャラリー TEL090-1189-8536
- 〒683-0102 米子市和田町1722番地 TEL 25-1112

ふる里ギャラリー

入場無料

米子市の和田農協の倉庫を改装して、平成 22 年 10 月にオープンした「ふる里ギャラリー」。

地域交流スペース「織姫サロン」、機織り体験ができる「織姫工房」とあわせて、地域の皆様にご利用いただいています。

今年も、弓浜地域の文化活動の情報発信拠点として、楽しい展示企画を用意してお待ちしております。

ぜひ一度、足をお運びください。

平成 22 年の展示

- 11 月 米子市和田町の 15 名の皆様「私の家の浜がすり展・お宝作品展」
- 12 月 米子市和田町のキルト作家、和田町の村上絣織物、伯耆町のフラワーアーティストによる「かすりの夢展」

平成 23 年の展示予定

- 1 月 「お正月特別展」 1/15 (土) ~ 30 (日) 境港市巾野町の佐々木様より 故 井生智恵子様によるなつかしい土地の思い出のパッチワーク作品など
- 2 月 「木彫りひとり展」 2/6 (日) ~ 27 (日) 米子市和田町在住 山根幸雄様 山陰の風景など、約 20 点の木彫り作品



鳥取県米子市和田町1722番地 小規模多機能センター真誠会「ふる里」横 連絡先/ふる里ギャラリー マネージャー 屋敷奈津代 090-1189-8536 http://fgallery.org